

A区分・C区分共通
No.1(実演芸術・メディア芸術)

令和7年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(実演芸術・メディア芸術 共通)

別添	あり
----	----

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	音楽	種目	オーケストラ等
----	----	----	---------

応募区分(応募する区分を選択してください。)

応募区分	C区分
------	-----

複数応募の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、応募企画数から除く

複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しなければ、複数の企画を実施可能
--------------------	----------------------------

文化芸術団体の概要

ふりがな 制作団体名	こうえきしゃだんほうじんあんさんぶるこうべ 公益社団法人アンサンブル神戸		団体ウェブサイトURL http://www.ensemblekobe.com
	代表者職・氏名 代表理事 矢野正浩		
制作団体所在地	〒 651-0091	最寄り駅(バス停)	阪急春日野道
	兵庫県神戸市中央区若菜通5丁目2-14-104		
電話番号	078-241-6588		
ふりがな 公演団体名	おーけすとら あんさんぶるこうべ オーケストラ アンサンブル神戸		団体ウェブサイトURL http://www.ensemblekobe.com
	代表者職・氏名 首席指揮者 矢野正浩		
公演団体所在地	〒 651-0091	最寄り駅(バス停)	阪急春日野道
	兵庫県神戸市中央区若菜通5丁目2-14-104		
制作団体 設立年月	1996年8月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	代表理事 矢野正浩 理事 上島達司 他8名 監事 高次利彰	役員10名 監査員1名 事務局員2名 正社員34名 賛助会員115名 加入条件音楽を愛し、普及に貢献しようとする者で、当法人の目的に賛同して入会し、活動を推進する個人	
事務体制 事務(制作)専任担当の有無	事務(制作)専任の担当者を置く	本事業担当者名	稲内恵美
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	関本良二
本応募にかかる連絡先 (メールアドレス)	ensemblekobe@gmail.com		

<p>制作団体沿革・ 主な受賞歴</p>	<p>アンサンブル神戸は阪神大震災直後の仮設住宅などへの慰問演奏をきっかけに発足した。1996年9月神戸新聞松方ホール開館を機に同ホールを本拠地とし年間約10回の自主公演を行っている。発足当時から現在に至るまで一貫して約30名から40名の編成で毎年数回程度、関西各地の小・中学校での学校公演を行い、クラシック音楽に興味を持てるような環境を提供している。また、2013年12月より、演奏会に入場できない未就学児のために、年2回「0歳からのコンサート」を開催し、好評を博している。</p> <p>2001年神戸市民で構成される姉妹団体「神戸21世紀混声合唱団」を結成し、毎年1月に鎮魂や震災復興を願った演奏会を継続的に開催している。自主公演の他にも、全国各地のホール、地方公共団体など依頼公演にも対応し、神戸で培われた音楽文化を全国的に発信している。</p> <p>2015年12月その公益性が内閣府より認められ、公益社団法人アンサンブル神戸となり、関西を代表するオーケストラとして地域文化の振興、発展に貢献している。</p> <p>2013年8月に意欲的、先駆的な活動が認められて、公益財団法人神戸文化支援基金より第2回「KOBE ART AWARD」優秀賞が贈られた。令和3年度(76回)文化庁芸術祭 優秀賞受賞。</p>			
<p>学校等における 公演実績</p>	<p>2014年度 宮城名取市立関上中学校 岩手久慈市立久慈小学校 久慈市立宇部小学校 久慈市立久慈湊小学校 久慈市立大川目中学校</p> <p>2016年度 宝塚市立安倉小学校</p> <p>2018年度 加古川市立平岡小学校 稲美町立天満東小学校 新温泉町立浜坂北小学校</p> <p>2019年度 姫路市立置塩小学校</p> <p>2020年度 神戸市立雲中小学校 演目 オーケストラで奏でる1日</p> <p>2021年度 兵庫県立洲本実業高等学校 オーケストラで奏でる1日</p> <p>2022年度 阿南市立富岡小学校 須崎市立須崎小学校 光市立塩田小学校 井原市立美星中学校 備前市立三石小学校 姫路市立的形小学校 神戸市立雲中小学校 丹波市立柏原中学校 宝塚市立宝塚小学校 神戸市立義務教育学校港島学園 多度津町立豊原小学校 丹波市立三輪小学校 梅光学院中学校 オーケストラで奏でる1日</p> <p>2023年度 小野市立市場小学校 鳥取市立高草中学校 鳥取市立青谷中学校 境港市立境小学校 太田市立仁摩小学校 雲南市立加茂小学校 安芸高田市立八千代小学校 東広島市立川内小学校 オーケストラで奏でる1日</p> <p>2024年度 姫路市立城東小学校 四国中央市長津小学校 四国中央市妻鳥小学校 石井町立藍畑小学校 神戸市立出合小学校 オーケストラで奏でる1日</p>			
<p>特別支援学校等における 公演実績</p>	<p>1998年度 神戸市立盲学校</p> <p>2009年度 大阪市立弘済中学校</p> <p>2023年度 大阪府立光陽支援学校</p>			
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>有</p>		
	<p>※公開資料有の場合URL</p>	<p>https://48.gigafile.nu/1126-gfeae8d154b49ed08cb970850a6687c0e</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	<p>なし</p>	
		<p>PW:</p>	<p>なし</p>	

別添	あり
----	----

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 オークストラ アンサンブル神戸】

対象	小学生(低学年)	○	小学生(中学年)	○
	小学生(高学年)	○	中学生	○
企画名	オーケストラで奏でる1日			
企画のねらい	朝から夜まで1日のいろいろな時間にちなんだ音楽を演奏することにより、誰もが作曲家が曲を作った動機やその場面を想像しやすいように構成しました。自然現象や人間の日々の営み、過去の経験など普段の生活の中に音楽が息づいていることを生徒たちに理解してもらうことを意図としています。			
演目概要・演目選択理由	テレビやゲームなど与えられたもの受動的に楽しむことだけに慣れてきた現代の児童には、自ら能動的に芸術を楽しむ機会が減ってきていると考えられます。特に右脳を刺激する音楽を通して常に想像力がみなぎってくることを体感してもらい、そこで得た創造する力へとつながり、将来のあらゆる分野で活躍する人材を育てることができると、この演目を選択した理由です。			
児童・生徒の参加又は体験の形態	【指揮者体験コーナー】(別添1参照) 個性的な音楽家の集まりであるオーケストラの歌いまわしやテンポ、リズム、強弱を束ねる重要な役割をする指揮者。これを生徒のレベルにあった曲で体験していただきます。計6名(別添1参照) 【オーケストラと共演】簡単空き缶楽器でオーケストラ最大の魅力であるリズムを共に演奏することで体験できます。支援学校などで打楽器の体験が困難な学校では、代わりに紙コップで作るマラカスを扱うことで対応しています。(別添1参照) 【校歌をオーケストラと歌おう】ピアノ伴奏譜をもとに当団専属編曲者によるオーケストラ伴奏版で全校生徒と一緒に歌っていただきます。ブラスバンドや合唱部との共演にも応えています。録音を各学校に提供し、様々な機会に活用していただきます。(別添1参照)			
児童・生徒の参加可能人数	本公演	参加・体験人数目安	20名～600名	
		鑑賞人数目安	20～600名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	E.グリーグ ベール・ギェント第1組曲より 朝の気分 E.エルガー 愛の挨拶 オーケストラの楽器紹介 J.シュトラウス ボルカ「クラブフェンの森で」 ～様々な手作り楽器でオーケストラと共演～ L.v.ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」より第1楽章 W.A.モーツァルト セレナーデ第9番「ポストホルン」第6楽章 指揮者体験コーナー W.A.モーツァルト アイネ・クライネ・ナハトムジークより第1楽章(低学年)J.ブラームス ハンガリー舞曲第5番(高学年及び中学生) J.ハイドン オラトリオ「四季 冬」より 間奏曲 L.v.ベートーヴェン 交響曲第6番「田園」より第4楽章 A.ドヴォルザーク 交響曲第9番「新世界」より第2楽章 F.メンデルスゾーン 真夏の夜の夢より「ノットゥルナ」 校歌(他音楽会などで歌ったり練習している曲にも対応) アンコール J.シュトラウス ラデツキー行進曲 公演時間 80 分			
出演者	コンサートマスター 辻井 淳 ヴァイオリン 大西秀朋 加茂夏来 上門文香 小林真奈美 佐藤恵梨 原田潤一 村上順子 ヴィオラ ザザ・ゴグア 森亜紀子 安積宜輝 チェロ 細谷公三香 池村佳子 コントラバス 石川 徹 吉田有音 フルート ザビエル・ラック 徳永 碧 オーボエ 東口佐和子 高島美紀 クラリネット 竹内久利 岩田直樹 ファゴット 佐々木威裕 桑原正善 ホルン 木村夏音 井上りず トランペット 常盤井大志 西村清志 ティンパニー 打楽器 大竹秀晃 指揮 矢野正浩 司会 谷田奈央			
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	別添4参照			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 30 名	運搬	積載量: 2 t	
	スタッフ: 2 名		車長: 4.7 m	
	合計: 32 名		台数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		時間程度	
	到着	仕込み	上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～10時30分	13時30分～15時	10分	15時～16時30分	16時30分
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数目安 <small>※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)</small>	6月	7月	8月	9月		
	21日	13日	4日	20日		
	10月	11月	12月	1月		
	15日	17日	13日	17日		
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。			計	120日	
公演に係るビジュアルイメージ (舞台の規模や演出がわかる写真) <small>※採択決定後、図面等の提出をお願いします。</small>	<p style="text-align: center;">アンサンブル神戸 文化庁公演 オーケストラ基本配置 2022年6月～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>指揮者=1名</p> <p>Vn1=4名 Vn2=4名 Va=3名 Vc=2名 Cb=2名</p> <p>Fl=2名 Ob=2名 Cl=2名 Fg=2名</p> <p>Hr=2名 Trp=2名</p> <p>Timp=2名</p> <p>司会者=1名 ステマネ=2名</p> <p>合計=32名</p> </div> <div style="width: 40%; text-align: center;"> </div> <div style="width: 25%;"> <p>使用備品一覧</p> <ul style="list-style-type: none"> 背付きピアノ/椅子×3 奏者椅子×2.5脚 バス椅子×2 ティンパニ椅子×1 脚面台×2.1 指揮者用脚面台×1 指揮台×1 <p><small>指揮者用有線(無線)マイク×1 司会者用有線(無線)マイク×1</small></p> </div> </div> <p style="text-align: center;">2022年5月11日版</p> <p style="text-align: center;">体育館フロアに舞台を設置します。幅10mx奥行6m</p>					
	著作権、上演権利等の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名		
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況			

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

【公演団体名 オークストラ アンサンブル神戸 】

ワークショップのねらい	300年以上続き、多くの人々により守られてきたクラシック音楽を様々な作曲家の生活体験、作曲動機、技法を知ることにより、より深く楽曲を理解できる知識と感受性を育てる。 指揮者体験をすることにより、集団で一つのもので作り上げていく醍醐味、大切さを学んでもらう。 日常的に使うもので簡単にできるカッコウ笛などの楽器を使って実際に音を出し、本公演で共演する曲を 主指導者の指導と補助指導者の演奏と合わすことにより、演奏の難しさを体験してもらい、音が出て音楽 として演奏ができた時の達成感を得ることを目的とする。このことにより将来アクティブに楽器に触れる大 人を増やすことができ、音楽文化を強固に支え続ける層の拡大につながる効果が見込まれる。		
児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	200名
ワークショップ実施形態及び内容	<ul style="list-style-type: none"> ・主指導者 弦楽器奏者4名(ヴァイオリン奏者2名、ヴィオラ奏者1名、チェロ奏者1名、管楽器奏者1名 計6名を派遣する) ・本公演のプログラムについて作曲家がどのような動機によって作曲したかを説明し、その時どのような作曲技法が使われているかを実際、演奏をとおして解説する。(20分) ・指揮者の役割の重要性を説明し、参加者全員でアンサンブルと一緒に指揮を練習する。時間があれば本公演の指揮者体験コーナーで指揮する以外の生徒にアンサンブルを指揮してもらおう。(8分) ・空き缶とストローで簡単に作れるカッコウ笛を使って実際に音を出してみる。音程を正確に出せて、リズムを正確に演奏できるようになるまで指導し、最後に本公演でオーケストラと一緒に演奏する曲を指揮とアンサンブルに合わせて合奏してみる。(12分) <p style="text-align: right;">・新</p> <p>型コロナウィルスやインフルエンザ感染拡大防止により吹奏楽器の体験が困難な場合、紙コップで作るマラカスや同じく紙コップで作る摩弦楽器クォーク(別添1参照)など他の選択肢も用意している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本公演では手拍子で参加してもらおう演目もあるので、指揮に合わせてテンポの変化や強弱をつけて手拍子出来るように指導する。(5分) (授業時間に対応 標準45分) 		
その他ワークショップに関する特記事項等	過去に行ったワークショップの映像と当日のタイムスケジュールを事前に学校に送り、学校側にどのようにワークショップを進めていくかをイメージしやすくする。 本公演で演奏する場所の音響や生徒とのディスタンスを事前にチェックし、場合によっては音響機器の設置や平台の設置が必要か検討する。 本公演時の気温や湿度といった演奏条件を予想し、事前に対策を講じる。 ワークショップの様子はビデオで録画して本公演の司会者に生かしてもらおう。そして各学校の生徒の気質を把握し、それに合った司会進行を考える。		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添	あり
----	----

本事業への応募理由

【公演団体名 オーケストラ アンサンブル神戸】

<p>本事業に対する 取り組み姿勢、および 効果的かつ円滑に実施 するための工夫</p>	<p>①本事業に対する取り組み姿勢 本事業への申請理由は、「学校に直接出向くことにより少しでも多くの若い世代へのクラシック音楽に触れる機会」が提供できるとともに、「音楽文化の発展及び継承に貢献」できるものと考えていることによります。学校生活の多忙化に伴い、生のクラシック音楽の演奏をコンサートホール等で聴く機会はあまりないのが現状だと考えられます。最近クラシック音楽を支える観客層が高齢化しており、若い世代が演奏会から遠ざかっていることが問題視されています。またコロナ感染拡大によって年配の方々が外出を控えていることが観客減少につながり、ますます生の演奏会を継承していくことが困難となっており音楽芸術文化の衰退が懸念されております。本事業は本公演前のワークショップを通じて、生徒たちが音楽をいろんな角度から考え、体験する機会を与えることによって、感受性を柔軟にしてから本公演を鑑賞することができるので、音楽を新しい観点からとらえられるようになると期待されます。特に実際に音を出して肌でその振動を感じることは重要です。 音楽を聴くだけでなく体験できる音楽会の重要性は、我々のオーケストラが11年前より年2回、0歳から小学校低学年くらいまでのお子さんとその親を対象とした演奏会がそれを物語っています。この演奏会には当初の予想に反して、多くの若い方々がお子さんを連れて演奏会に来てくださいました。特に体験型の音楽会の企画として行った開演前のホールロビーでハンドベルや民族楽器、またはオーケストラの楽器に触れるコーナーや会場内で実際に簡単な楽器を制作して演奏会で一緒に演奏するコーナーは人気があります。アンケートにも是非このような機会を増やしてほしいとの声を多くいただきます。小学生高学年・中学生もこのような「体験型の音楽会」を聴きたいという声が多いことが、アンケート結果からもうかがえます。 欧米では音楽文化を支えている多くの観客層の人々がアクティブに何かしらの楽器を演奏したり、ヴォーカルグループや合唱などを行っている割合が多いですが、わが国でも「体験型の音楽会」を数多く行うことでアクティブな音楽文化を支えていく人口を増やしていくことが急務であると感じており、本事業に参加を希望する強い理由であります。 近年若年層のコミュニケーション力不足が叫ばれていますが、音楽を理解することは聴覚を使って脳を刺激し、言語を超えて世界共通の感情を共有でき、国際社会に通用する人材育成には欠かせません。</p> <p>②事業を効果的かつ円滑に実施するための工夫 【指揮者コーナー】 指揮する生徒を、予め決めてもらい、ワークショップの際、指揮体験を通じて「自らの力でオーケストラが指揮できた」という成功体験がもてるように、子供たちへの指揮の講習(振り方・始め方・終わり方など)を行います。この時、指揮体験できない子供たちにも補助指導員の演奏と一緒に指揮を体験していただき、指揮するときの注意点や合図を出して、正確に演奏させるコツなどを説明します。 【オーケストラと共演】 ワークショップの際にオーケストラとの演奏に関して具体的に注意点などを指導し、本公演まで学校側と連携を密にとり、実力が遺憾なく発揮できるようにいたします。そして、児童・生徒とリハーサルが必要と判断した場合、当日のオーケストラ・リハーサルの中で納得いく演奏ができるように、練習時間を確保するようにいたします。楽器制作指導も実際に音を出しながら、音の出る仕組み、音を出すコツなどを説明しながら進めます。 【校歌をオーケストラと歌おう】 事前に校歌の楽譜を送っていただき、校歌の作曲された時代や学校のある地域の特色などに合ったアレンジでオーケストラパート譜を作成して臨みます。アレンジした校歌はオーケストラ伴奏だけのものと、司会者が一緒に歌ったものを録音し、学校に提供いたします。共演希望のブラスバンドや合唱部の共演希望曲は、あらかじめ演奏の注意点、練習の仕方などを伝えて、生徒が満足できるレベルになるように協力いたします。 【演奏会の司会進行】 公演の進行は司会者が行います。時間が延びたりしないよう、授業時間の設定を意識して運営を行います。司会者は音楽大学の声楽専攻で、特に当団が主催する「0歳からのコンサート」での司会経験が豊富で低年齢層に集中力を持続させ、興味を保たす技術に長けています。また学校教育における各学年の音楽授業の進捗にも精通しており、低学年、高学年、中学生と年齢層に合わせて音楽的話題を巧みに変えて退屈させずに進行いたします。 【会場設営及びセッティング】 演奏会場の音響などに対応して、演奏者とスタッフが連携を密にして、演奏配置や場合によっては、平台の位置やマイクや反響版の位置までも円滑に決めて行います。 【公演当日までの打ち合わせ】公演に関するスケジュール、確認事項、学校での借用備品、トラックやバスの搬入経路、公演の流れなど、シートを作成し学校側と共有します。【別添2.3参照】</p>
--	---

別添	なし
----	----

C区分で事業を実施するに当たっての工夫

【公演団体名 **オーケストラ アンサンブル神戸**】

C区分で事業を実施するに当たっての工夫	<p>①離島・へき地等における公演実績 2007年京丹波町立檜山小学校 上郡町立山野里小学校 2014年岩手県久慈市立宇部小学校 2018年新温泉町立浜坂北小学校 2022年須崎市立須崎小学校 光市立塩田小学校 井原市立美星中学校 備前市立三石小学校 丹波市立三輪小学校 丹波市立柏原中学校 多度津町豊原小学校 2023年鳥取市立青谷中学校 太田市立仁摩小学校 雲南市立加茂小学校</p> <p>②離島やへき地等の地理的に特殊な事情がある地域で実施する上での工夫や、小規模な公演であっても公演及びワークショップの質を保つための工夫 1) 離島などトラックなどでの楽器運搬が困難な地域では、例えば、ティンパニーは、手荷物として運搬が可能なバロックティンパニーやシンセサイザーティンパニーなどに代用できる。トラックでの搬入が困難な場合は、ハイエース1台でできるだけコンパクトに積み込むなどして対応もする。コントラバスなどの大型弦楽器も4弦の小さいサイズの楽器で演奏することにより、一般の公共交通機関だけでの移動を可能にする。 2) 体育館の舞台上や演奏場所が狭い場合などの制約がある場合は、チェロ以外の弦楽器の一部やファゴット以外の管楽器の一部を立奏することにより演奏が可能になる。 3) 約30名の小編成での演奏経験が豊富で、小規模のオーケストラで大編成オーケストラのレパートリーを演奏するとき、弦楽器に拡声器をつけて大編成と同じ演奏効果を出すことができる。 4) ワークショップの開催時間を各学年の音楽の授業の時間帯に合わせることで、学校の時間割への負担を減らすことができる。</p> <p>③C区分応募における、費用面の工夫 1) 移動や楽器搬入が困難な地域に対してワークショップと本公演を同日に行うことにより、移動経費や、人件費を削減することができる。 2) 経験豊かな舞台スタッフと、ステージマネージャー経験も豊富な数名の演奏者が共に動くことにより、少ない人員で舞台設置などに素早く対応できる。これにより旅費、人件費を削減できる。 3) ライブラリアンが舞台補助員として兼任することで旅費、人件費が削減できる。 4) ティンパニー奏者がパーカッション奏者を兼務することにより旅費、人件費が削減できる。 5) プログラムには大編成のために書かれた楽曲が含まれており、本来3番4番ホルン、第1第2トロンボーン、バストロンボーンと28名の編成よりあと5名が必要であるが、それらの楽器奏者の出演の代わりに、その部分をアレンジして出番のない他の楽器でリカバーする。それにより、5人分の旅費、人件費が削除でき、それにも関わらず大編成のために書かれた楽曲も演奏できる。 6) 奏者の配置を工夫し、できるだけ狭いスペースで演奏を可能にしている。 7) 飛行機での移動に関して、ファゴット、ホルン、トランペットのケースを手荷物で郵送可能なものを使用することによりAB券を節約することができる。 8) 離島など公演を行う場合、ティンパニーなどの大型打楽器は各学校にある楽器を使用させて頂くことにより、楽器運送料の削減ができる。</p>
---------------------	--

ミス。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2
------	------

【公演団体名

オーケストラ アンサンブル神戸】



項目内容
児童・生徒の参加又は体験の形態

アルミ缶カッコウ笛の作り方

用意するもの
空き缶(アルミ缶) タビオカのストロー テープ 鋸(きり)

空き缶の底に鋸で穴をあける

ストローをテープで貼り付ける

カッ コウ 完成!

オーケストラと一緒に演奏しよう! 簡単楽器クォークの作りかた

用意するもの
紙コップ 2個 タコ糸 テープ 濡れた紙おしぼり

紙コップの底に穴をあけ

タコ糸を通し結ぶ

その上からもう一つの紙コップを重ねてテープでとめる

完成! Phoo!!

おしぼりでタコ糸をつまんで上下に動かす

リンク先No.4		A区分・C区分共通		オーケストラ アンサンブル神戸	
対象	全校生徒	年生 (名)	教員	名	保護者・地域住民： 名
スケジュール	期日	年 月 日 ()		下見： 年 月 日	
	公演時間①	:	~	:	時間目 (分延長)
	公演時間②	:	~	:	時間目 (分延長)
	公演時間③	:	~	:	時間目 (分延長)
	会場				会場の時計について
	搬入・仕込み	:	~	:	・正確・チャイム合わせ
	出演者入り	:	頃予定		・どちらでもない(見ない)
	リハーサル	:	~	:	開場 :
	トラック待機	可・不可	場所		
	バス待機	可・不可	場所		
	片付け・搬出	:	~	:	
	バス出発	:	~	:	
	トラック出発	:	~	:	搬出終わり次第連絡
確認事項	チャイム消音	可(本番前後のみ、リハから)・不可			
	上履き	楽団持ち込み(要返却)			
	床面				エンドピン： 可・不可
	対象者着席	床・椅子			(不可の場合各奏者ストッパー対応)
	写真撮影	有・無			音・フラッシュ不可
	控室	男性：			着替えのため目隠し必要 窓全面カーテンなどベスト 控室での飲食：可・不可
		女性：			
		指揮者：			
	司会者：				
	お手洗い	楽屋付近：	会場付近：		生徒たちとの接触を避けて
検温場所	玄関：あり・なし	会場：あり・なし			
消毒設置	控室：あり・なし	会場：あり・なし			
学校借用備品	舞台備品	マイク：	本(Max3本)		ボリューム調整：可・不可
		背付きピアノ椅子：	脚(Max3脚)		
		奏者椅子：	脚(Max35脚)		
		待機椅子：	脚(両袖に20脚程)		
		指揮台：	有・無		
		長机：	台(舞台裏に6台度荷物置き)		
	ホワイボード：	台(袖目隠し用2台)			
	楽屋備品	椅子：	脚(各楽屋奏者人数分)		
長机：		台(各楽屋6台程・食事荷物置き)			
学校情報	担当者				校舎見取り図あればベスト
	連絡先	住所：			
		TEL：			
		FAX：			
その他	近隣施設	コンビニ：有(徒歩 分)・無	スーパー：有(徒歩 分)・無		

リンク先No.4 A区分・C区分共通 公演の流れ オーケストラ アンサンブル神戸

開演前	諸注意など生徒・保護者などへのアナウンス		有 ・ 無	
	学校の先生方・生徒代表からのご挨拶		有（先生・生徒）・ 無	
始まり方	挨拶がある場合は司会者に引き継ぐ際のコメントをお願いします（本編の進行は司会者が行います）			
	挨拶がない場合は担当の先生から全員揃われた旨を舞台担当にお伝えください			
楽器共演	手作り楽器	先生方が配る ・ 各自座席に置いている		
		先生方が回収 ・ 各自座席に置く		
指揮者体験 (名)	おなまえ	: 年生	: 年生	: 年生
		: 年生	: 年生	: 年生
		: 年生	: 年生	: 年生
休憩	有 ・ 無 （水分補給など5分程度なら可能・再開時は全員揃われたら舞台担当にお伝えください）			
校歌共演	○ 番まで	当日サウンドチェックでテンポの確認をお願いします（立会: 先生）		
	録音用にすべての歌詞をコピーください（出来れば事前にデータにて）。			
アンコール後	学校の先生方・生徒代表からのご挨拶		有（先生・生徒）・ 無	
	挨拶がある場合	司会者から引き継ぎのコメントがありますのでご準備ください。		
		挨拶後、「拍手でお見送り」と誘導をお願いいたします。		
	挨拶がない場合	司会者が締めくくりますので拍手で奏者をお見送りください		
ある程度奏者が舞台から退席したら担当の先生に舞台担当から合図をしますのご退場ください。				
退場	生徒たちと出演者の導線	同じ（時間差退場） ・ 別（準備出来次第退場）		

A区分・C区分共通

ます。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.2	【公演団体名	オーケストラ アンサンブル神戸】
<p style="text-align: center;">矢野 正浩【指揮】</p> <p>旧西ドイツ国立トロッシゲン音楽大学大学院を最高点で修了。1992年フィンランド ヨエンスウ市立管弦楽団に首席フルート奏者として入団、シベリウスアカデミー音楽大学クオーピオ校専任講師に就任。2001年より神戸21世紀混声合唱団を組織し指揮者となる。2009年クルト・マズア指揮マスタークラス東京でアシスタントを務める。1998年第2回松方ホール音楽賞大賞受賞。平成20年度神戸市文化奨励賞受賞。令和2年度神戸市文化賞受賞。</p> <p style="text-align: center;">辻井 淳【ヴァイオリン】</p> <p>東京藝術大学卒業。DAAD によりシュトゥットガルト音楽大学入学。第50回日本音楽コンクール第2位。1984年から1993年まで京都市交響楽団コンサートマスターを務める。2007年から2009年まで新日本フィルハーモニー交響楽団客演コンサートマスターを務める。現在、神戸女学院大学音楽部准教授。京都バッハブリステン、コンサートマスター。オーケストラ“アンサンブル神戸”コンサートマスター。</p> <p style="text-align: center;">谷田 奈央【司会】</p> <p>神戸女学院大学音楽学部、同大学院音楽研究科修了。</p> <p>歌劇『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、『魔笛』ダーメⅢ、クナーベⅢ、『蝶々夫人』スズキ、『ファウスト』シーベル、『ヘンゼルとグレーテル』ヘンゼル役、他多数出演。『第九』『メサイア』『口短調ミサ』等のアルトソリストも務める。モーツァルテウム音楽院夏期国際アカデミーにてディプロマ取得。350回以上のこどものためのコンサートを展開する『アンサンブルちようちよ』を主宰。司会にも定評があり、関西主要オーケストラの文化庁学校公演にてMC兼歌い手として同行中。神戸女学院大学音楽学部「音楽によるアウトリーチ」講師。関西二期会会員、神戸音楽家協会会員。</p>			

項目内容

演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴